

2019 年度  
(第 5 期)  
**事業計画書**

自 2019 年 1 月 1 日  
至 2019 年 12 月 31 日

公益財団法人 杉浦記念財団

## 2019年度（第5期）事業計画書

### 1. 公益目的事業

#### (1) 助成・褒賞事業（公1）

地域医療の振興に関わる活動等に対する助成と褒賞（定款第4条第1項第1号）

「杉浦地域医療振興助成」、「杉浦地域医療振興賞」の第8回の募集・授与と第7回助成の成果報告会を実施します。

##### A. 第8回杉浦地域医療振興助成を下記要領で募集します。

助成の対象	「地域包括ケアの実現」「健康寿命の延伸」の分野で、優れた活動や研究を行っている個人・団体。
助成の内容	「杉浦地域医療振興助成」として個人・団体に対して総額 2,000 万円を助成。 研究分野は、総額 1,500 万円で、1 件につき 300 万円を限度 活動分野は、総額 500 万円で、1 件につき 50 万円を限度 助成金交付日 2019 年 5 月 31 日までに交付。
募集、選考等	ホームページ、学会、団体等へ情報配信して候補を募集し、選考委員会で決定します。 募集期間 2019 年 1 月 1 日～2019 年 2 月 28 日
その他	2019 年 7 月 18 日に授与式と前年度の成果報告会を実施。

##### B. 第8回杉浦地域医療振興賞を下記要領で募集します。

褒賞の対象	地域医療振興の分野で、顕著な業績をあげ、継続して活躍中の個人・団体。
褒賞の内容	「杉浦地域医療振興賞」として個人・団体を褒賞。 正賞 記念品、副賞 金 200 万円を上限として、総額 1,000 万円
募集、選考等	ホームページで公募及び諮問委員からの推薦をいただき、審査委員会で決定。 募集期間 2018 年 10 月 1 日～2018 年 12 月 31 日
その他	2019 年 7 月 18 日に授与式を実施。

##### C. 杉浦地域医療振興助成を受けた方の論文投稿を支援します。

助成対象の研究論文の投稿を支援するため、掲載料の支給等を行います。

収支予算書（助成・褒賞事業）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	40,372,400	39,761,440	610,960
消耗品費	25,000	25,000	0
印刷製本費	1,440,000	1,690,000	△250,000
その他	1,440,000	1,690,000	△250,000
諸謝金	1,700,000	1,750,000	△50,000
選考委員謝礼	1,700,000	1,750,000	△50,000
租税公課	642,400	593,440	48,960
支払助成金	20,000,000	20,000,000	0
支払寄付金	10,000,000	10,000,000	0
広告宣伝費	260,000	3,000	257,000
会議費	4,081,000	3,760,000	321,000
助成・褒賞贈呈式会議費用	3,731,000	3,410,000	321,000
選考委員会議費用	350,000	350,000	0
旅費交通費	2,124,000	1,875,000	249,000
選考委員旅費交通費	599,000	575,000	24,000
贈呈式参加者旅費交通費	1,125,000	1,000,000	125,000
その他	400,000	300,000	100,000
通信運搬費	100,000	65,000	35,000
経常費用計	40,372,400	39,761,440	610,960
評価損益等調整前当期経常増減額	△40,372,400	△39,761,440	△610,960
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△40,372,400	△39,761,440	△610,960

経常費用予算は4,037万円で、前年度予算と比較して61万円増加しています。主な要因は、以下のとおりです。

- 前年度から実施した杉浦助成の活動分野のパネル発表の費用を加味して会議費を増加させたこと（+32万円）
- 前年度の実績に即して、広告宣伝費、旅費交通費、通信運搬費、租税公課を増加させたこと（+59万円）、印刷費、諸謝金を減少させたこと（△30万円）

(2) 調査・研究事業（公2）

地域医療の振興に係る社会実験への助成、参画（定款第4条第1項第2号）

A. 都市型の看護介護医療等連携研究会

都市型の看護介護医療等連携研究会を東京にて年6回（1月、3月、5月、7月、9月、11月）開催します。常に進化し続ける地域包括ケアシステムをテーマとして、その概念と実態を研究していきます。

また、同研究会講演集 Vol.5 の発行を予定しており、既発行のものを含め、希望者に無料にて贈呈します。

収支予算書（調査・研究事業A）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	7,121,640	6,857,040	264,600
印刷製本費	2,962,000	2,912,000	50,000
その他	2,962,000	2,912,000	50,000
諸謝金	660,000	660,000	0
セミナー講師謝礼	480,000	480,000	0
その他	180,000	180,000	0
租税公課	478,640	459,040	19,600
会議費	1,500,000	1,500,000	0
研究会会議費	1,500,000	1,500,000	0
旅費交通費	1,500,000	1,311,000	189,000
研究会会員旅費交通費	1,260,000	1,080,000	180,000
その他	240,000	231,000	9,000
通信運搬費	21,000	15,000	6,000
経常費用計	7,121,640	6,857,040	264,600
評価損益等調整前当期経常増減額	△7,121,640	△6,857,040	△264,600
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△7,121,640	△6,857,040	△264,600

経常費用予算は712万円で、前年度予算と比較して26万円増加しています。主な要因は、以下のとおりです。

- 前年度の実績に即して、印刷製本費、旅費交通費、通信運搬費、租税公課を増加させたこと（+26万円）

B. 医薬品適正使用協働研究会

医薬品適正使用協働研究会を東京にて年6回（2月、4月、6月、8月、10月、12月）開催します。地域包括ケアの中で、医薬品適正使用の観点から、チーム医療における協働を進めることを目的とします。

なお、同研究会での講演内容は、「地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修」のコンテンツにて視聴できます。

収支予算書（調査・研究事業B）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	3,090,000	3,414,000	△324,000
印刷製本費	12,000	312,000	△300,000
その他	12,000	312,000	△300,000
諸謝金	660,000	660,000	0
セミナー講師謝礼	480,000	480,000	0
その他	180,000	180,000	0
租税公課	180,000	204,000	△24,000
会議費	1,500,000	1,500,000	0
研究会会議費	1,500,000	1,500,000	0
旅費交通費	720,000	723,000	△3,000
研究会会員旅費交通費	480,000	540,000	△60,000
その他	240,000	183,000	57,000
通信運搬費	18,000	15,000	3,000
経常費用計	3,090,000	3,414,000	△324,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△3,090,000	△3,414,000	324,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△3,090,000	△3,414,000	324,000

経常費用予算は309万円で、前年度予算と比較して32万円減少しています。主な要因は、以下のとおりです。

- ▶ 前年度の実績に即して、印刷製本費、租税公課を減少させたこと（△32万円）

C. 愛知県地域再生・まちづくり研究会

愛知県地域再生・まちづくり研究会を名古屋にて年8回（1月、2月、3月、5月、6月、8月、11月、12月）開催します。また、2019年9月29日には、シンポジウム（一般公開）を開催します。「これから生まれてくる人のために2060年までをどうデザインするか」をテーマに、その「プラットフォーム」を策定するに際して、問題点を明確にしたうえで、その解決方法を検討していきます。

2018年6月からは、これからの社会の仕組みづくりを担い、次世代への橋渡しの役割を期待される30歳代、40歳代にメンバーを入れ替え、従来のメンバーはオブザーバーの立場から、新メンバーによる検討を支援しています。

収支予算書（調査・研究事業C）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	8,831,160	7,366,140	1,465,020
印刷製本費	2,944,500	1,518,000	1,426,500
その他	2,944,500	1,518,000	1,426,500
諸謝金	1,890,000	1,620,000	270,000
セミナー講師謝礼	1,320,000	1,020,000	300,000
その他	570,000	600,000	△30,000
支払手数料	20,000	0	20,000
その他	20,000	0	20,000
租税公課	514,160	425,640	88,520
広告宣伝費	600,000	1,000,000	△400,000
会議費	1,315,000	1,720,000	△405,000
研究会会議費	765,000	720,000	45,000
セミナー会議費用	550,000	1,000,000	△450,000
旅費交通費	1,450,000	1,060,000	390,000
研究会会員旅費交通費	1,400,000	1,000,000	400,000
その他	50,000	60,000	△10,000
通信運搬費	97,500	22,500	75,000
経常費用計	8,831,160	7,366,140	1,465,020
評価損益等調整前当期経常増減額	△8,831,160	△7,366,140	△1,465,020
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△8,831,160	△7,366,140	△1,465,020

経常費用予算は883万円で、前年度予算と比較して147万円増加しています。主な要因は、以下のとおりです。

- ▶ 前年度の実績に即して、印刷製本費、諸謝金、支払手数料、旅費交通費、通信運搬費、租税公課を増加させたこと（+227万円）、広告宣伝費、会議費を減少させたこと（△81万円）

D. 健康寿命延伸と介護予防を考える会

健康寿命延伸と介護予防を考える会を名古屋にて年6回（1月、3月、5月、7月、9月、11月）開催します。また、シンポジウム（一般公開）を開催します。70歳以降に要介護状態になることなく、可能な限り長く自立して生きていくために有効な対策を考えていきます。

なお、同会での講演内容は、「地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修」のコンテンツにて視聴できます。

収支予算書（調査・研究事業D）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	6,466,080	2,121,240	4,344,840
印刷製本費	2,952,000	12,000	2,940,000
その他	2,952,000	12,000	2,940,000
諸謝金	960,000	660,000	300,000
セミナー講師謝礼	480,000	480,000	0
その他	480,000	180,000	300,000
支払手数料	20,000	0	20,000
その他	20,000	0	20,000
租税公課	430,080	108,240	321,840
広告宣伝費	600,000	0	600,000
会議費	1,090,000	720,000	370,000
研究会会議費	540,000	720,000	△180,000
セミナー会議費用	550,000	0	550,000
旅費交通費	366,000	606,000	△240,000
研究会会員旅費交通費	360,000	600,000	△240,000
その他	6,000	6,000	0
通信運搬費	48,000	15,000	33,000
経常費用計	6,466,080	2,121,240	4,344,840
評価損益等調整前当期経常増減額	△6,466,080	△2,121,240	△4,344,840
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△6,466,080	△2,121,240	△4,344,840

経常費用予算は647万円で、前年度予算と比較して434万円増加しています。主な要因は、以下のとおりです。

- ▶ シンポジウムの開催、報告集の作成を想定して、印刷製本費、諸謝金、支払手数料、広告宣伝費、会議費、通信運搬費、租税公課を増加させたこと（+458万円）
- ▶ 前年度の実績に即して旅費交通費を減少させたこと（△24万円）

### (3) 講座・セミナー事業（一般対象）（公3）

その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第1項第6号）

#### A. 健康増進セミナーの開催

健康増進セミナーを東名阪の主要都市にて年5回（1月・東京、2月・大阪、4月・兵庫、7月・埼玉、9月・京都）開催します。スギ薬局の協賛のもと、体組成・骨密度等の測定や、健康相談、講演会を実施します。

#### 収支予算書（講座・セミナー事業（一般対象）A）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	2,114,440	3,085,054	△970,614
印刷製本費	0	1,000,000	△1,000,000
その他の	0	1,000,000	△1,000,000
諸謝金	600,000	800,000	△200,000
セミナー講師謝礼	600,000	800,000	△200,000
租税公課	13,440	97,920	△84,480
会議費	48,000	64,000	△16,000
セミナー会議費用	48,000	64,000	△16,000
旅費交通費	120,000	160,000	△40,000
セミナー講師旅費交通費	60,000	80,000	△20,000
その他の	60,000	80,000	△20,000
減価償却費	1,333,000	963,134	369,866
経常費用計	2,114,440	3,085,054	△970,614
評価損益等調整前当期経常増減額	△2,114,440	△3,085,054	970,614
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△2,114,440	△3,085,054	970,614

経常費用予算は211万円で、前年度予算と比較して97万円減少しています。主な要因は、以下のとおりです。

- ▶ 健康増進セミナーの開催回数が減少（8回から5回）すること、前年度に予算計上したリフレッシュ運動DVDの更新を実施せず、かつ、本年度の実施を見送ったことから、印刷製本費、諸謝金、会議費、旅費交通費、租税公課を減少させたこと（△134万円）
- ▶ 前年度に超音波骨密度測定装置を2台追加購入したため、減価償却費が増加すること（+37万円）



B. 「第6回認知症医療介護推進フォーラム」の開催

「第6回認知症医療介護推進フォーラム」を2019年2月17日にYMCA国際文化センター（大阪市）にて開催します。国立研究開発法人 国立長寿医療研究センターの主催、当法人の共催のもと、認知症予防・治療の知識、また、認知症への理解を深めることに資する講演、討論等を実施します。なお、同センターとの協議により、当該フォーラムは一旦終了し、新たに「高齢者とくすり」をテーマとするフォーラム（下記C.参照）を開催することとしました。

収支予算書（講座・セミナー事業（一般対象）B）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	1,320,720	2,576,000	△1,255,280
印刷製本費	441,000	400,000	41,000
その他	441,000	400,000	41,000
諸謝金	150,000	200,000	△50,000
セミナー講師謝礼	150,000	200,000	△50,000
租税公課	86,720	176,000	△89,280
委託費	0	250,000	△250,000
広告宣伝費	15,000	0	15,000
会議費	278,000	1,200,000	△922,000
セミナー会議費用	278,000	1,200,000	△922,000
旅費交通費	340,000	340,000	0
セミナー講師旅費交通費	240,000	240,000	0
その他	100,000	100,000	0
通信運搬費	10,000	10,000	0
経常費用計	1,320,720	2,576,000	△1,255,280
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,320,720	△2,576,000	1,255,280
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△1,320,720	△2,576,000	1,255,280

経常費用予算は132万円で、前年度予算と比較して126万円減少しています。主な要因は、以下のとおりです。

- 前年度の実績に即して、印刷製本費、広告宣伝費を増加させたこと（+6万円）、諸謝金を減少させたこと（△5万円）
- 会場費が例年よりも抑えられたため、会議費を減少させたこと（△92万円）
- 電話による参加応募受付を行わないこととしたため、その委託費を計上しなかったこと（△25万円）
- 上記に伴い、租税公課を減少させたこと（△9万円）

C. 「第1回高齢者とくすりのフォーラム」の開催

「第1回高齢者とくすりのフォーラム」を2019年9月29日に今池ガスホール（名古屋市）にて開催します。国立研究開発法人 国立長寿医療研究センターの主催、当法人の共催のもと、医薬品、サプリメント等の適正使用への理解を深めることに資する講演、討論等を実施します。

収支予算書（講座・セミナー事業（一般対象）C）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0		0
(2) 経常費用			
事業費	1,320,720		1,320,720
印刷製本費	441,000		441,000
その他の	441,000		441,000
諸謝金	150,000		150,000
セミナー講師謝礼	150,000		150,000
租税公課	86,720		86,720
広告宣伝費	15,000		15,000
会議費	278,000		278,000
セミナー会議費用	278,000		278,000
旅費交通費	340,000		340,000
セミナー講師旅費交通費	240,000		240,000
その他の	100,000		100,000
通信運搬費	10,000		10,000
経常費用計	1,320,720		1,320,720
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,320,720		△1,320,720
評価損益等計	0		0
当期経常増減額	△1,320,720		△1,320,720

#### (4) 講座・セミナー事業（専門家対象）（公4）

医師、薬剤師、看護師等の医療従事者及び介護福祉従事者の育成に対する事業（定款第4条第1項第3号）

「地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修」を実施します。地域包括ケアを担う薬剤師を育成し、医師、看護師、その他スタッフとの密接な連携のもとに地域医療における療養環境の充実に貢献することを目的としています。

#### 収支予算書（講座・セミナー事業（専門家対象））

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 会 費	3,000,000	3,000,000	0
研 修 事 業 会 費	3,000,000	3,000,000	0
経常収益計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 経常費用			
事 業 費	4,709,956	3,548,600	1,161,356
印 刷 製 本 費	1,100,000	900,000	200,000
教 材 撮 影 編 集 費	1,100,000	900,000	200,000
諸 謝 金	750,000	400,000	350,000
セ ミ ナ ー 講 師 謝 礼	750,000	400,000	350,000
支 払 手 数 料	1,655,700	1,380,000	275,700
I D 管 理 費	1,260,000	1,020,000	240,000
日 本 薬 剤 師 研 修 セ ン タ ー 認 定 費	360,000	360,000	0
そ の 他	35,700	0	35,700
租 税 公 課	37,256	203,600	△166,344
広 告 宣 伝 費	200,000	0	200,000
会 議 費	100,000	100,000	0
セ ミ ナ ー 一 会 議 費 用	100,000	100,000	0
旅 費 交 通 費	160,000	160,000	0
そ の 他	160,000	160,000	0
通 信 運 搬 費	250,000	5,000	245,000
減 価 償 却 費	457,000	400,000	57,000
経常費用計	4,709,956	3,548,600	1,161,356
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,709,956	△548,600	△1,161,356
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△1,709,956	△548,600	△1,161,356

経常収益予算は300万円で、前年度と同額を計上しています。

経常費用予算は471万円で、前年度予算と比較して116万円増加しています。主な要因は、以下のとおりです。

- 講座数の増加を見込み、印刷製本費、諸謝金を増加させたこと（+55万円）
- 前年度の実績に即して、支払手数料、広告宣伝費、通信運搬費を増加させたこと（+72万円）
- 前年度に実施したサイトの機能追加に伴い、減価償却費が増加すること（+6万円）
- 上記に伴い、租税公課を減少させたこと（△17万円）

## (5) 公益事業共通

講座・セミナー事業（専門家対象）以外は事業固有の経常収益がないため、概して公益事業共通での経常収益にて公益目的事業会計における経常費用を賄います。

### 収支予算書（公益事業共通）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	44,602,620	66,854,620	△22,252,000
基本財産受取利息振替額	98,620	98,620	0
基本財産受取配当金	44,504,000	66,756,000	△22,252,000
受取寄付金	23,000,000	0	23,000,000
受取寄付金	23,000,000	0	23,000,000
経常収益計	67,602,620	66,854,620	748,000
(2) 経常費用			
事業費	2,340,000	2,400,000	△60,000
給料手当	2,340,000	2,400,000	△60,000
経常費用計	2,340,000	2,400,000	△60,000
評価損益等調整前当期経常増減額	65,262,620	64,454,620	808,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	65,262,620	64,454,620	808,000

経常収益予算は6,760万円で、前年度予算と比較して75万円増加しています。株式会社スギ商事からの受取配当金の減少分を受取寄付金で賄うことを見込んでいます。

経常費用予算は234万円で、前年度予算と比較して6万円減少しています。給料手当が同額減少することを見込んでいます。

## 2. 一般事業

本年度の役員会の開催は、以下のとおり計画しています。

時 期	会議名 【地 域】	議 題	出席予定者	備 考
3月14日	定時評議員会 【名古屋】	事業報告・決算承認等	評議員 15名 理事 11名、監事 2名	
	(臨時理事会)	理事長(代表理事)選定、杉浦地域医療振興賞承認等	理事 11名、監事 2名	
7月18日	定例理事会 【東 京】	業務報告等	理事 11名、監事 2名	助成・褒賞授与式に合わせて開催
	(臨時評議員会) 【東 京】		評議員 15名 理事 11名、監事 2名	助成・褒賞授与式に合わせて必要に応じて開催
12月5日	定例理事会 【名古屋】	事業計画・収支予算承認、審査委員・諮問委員・選考委員選任、業務報告等	理事 11名、監事 2名	

内閣府公益認定等委員会に対して、3月31日までに第4期(2018年度)事業報告書・決算報告書を含めた定期提出書類、また、12月31日までに第6期(2020年度)事業計画書・収支予算書の提出を行います。

収支予算書（一般事業）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	16,000,000	24,000,000	△8,000,000
基本財産受取配当金	16,000,000	24,000,000	△8,000,000
受取寄付金	2,000,000	0	2,000,000
受取寄付金	2,000,000	0	2,000,000
雑収	98,620	98,620	0
受取利息	98,620	98,620	0
経常収益計	18,098,620	24,098,620	△6,000,000
(2) 経常費用			
管理費	19,428,307	17,588,285	1,840,022
役員報酬	3,150,000	3,150,000	0
評議員報酬	1,300,000	1,300,000	0
理事報酬	1,450,000	1,450,000	0
監事報酬	400,000	400,000	0
消耗品費	40,000	40,000	0
印刷製本費	1,186,400	826,400	360,000
賃借料	180,000	180,000	0
支払手数料	339,008	359,008	△20,000
租税公課	396,855	376,113	20,742
給料手当	7,080,000	7,200,000	△120,000
支払寄付金	3,680,000	2,000,000	1,680,000
広告宣伝費	306,180	326,180	△20,000
ホームページ関連費用	306,180	306,180	0
その他	0	20,000	△20,000
会議費	703,500	703,500	0
旅費交通費	963,000	963,000	0
評議員旅費交通費	400,000	400,000	0
理事旅費交通費	450,000	450,000	0
監事旅費交通費	63,000	63,000	0
職員旅費交通費	50,000	50,000	0
通信運搬費	642,600	703,320	△60,720
電話料	102,000	102,000	0
その他	540,600	601,320	△60,720
減価償却費	160,764	160,764	0
雑費	600,000	600,000	0
その他	600,000	600,000	0
経常費用計	19,428,307	17,588,285	1,840,022
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,329,687	6,510,335	△7,840,022
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△1,329,687	6,510,335	△7,840,022

経常収益予算は1,810万円で、前年度予算と比較して600万円減少しています。株式会社スギ商事からの受取配当金の減少分を受取寄付金と前年度までの剰余金で賄うことを見込んでいます。

経常費用予算は1,943万円で、前年度予算と比較して184万円増加しています。主な要因は、以下のとおりです。

- 関係団体等に対する寄付金、賛助会費等の増加を見込み、支払寄付金を増加させたこと（+168万円）
- 前年度の実績に即して、印刷製本費を増加させたこと（+36万円）、支払手数料、給料

手当、宣伝広告費、通信運搬費を減少させたこと（△22 万円）

➤ 上記に伴い、租税公課を増加させたこと（+2 万円）

以 上